

日本食肉加工情報

CONTENTS

毎月1回発行

3

2022 MAR.

No.861

●特 集 1

食肉需給の動向について

●特 集 2

天然ソーセージケーシング(天然腸)の輸入状況と羊腸価格の短期的動向

●窓

第76回 株式会社鎌倉ハム富岡商会

代表取締役社長 門井 勝昭 氏 「トルコでの体験」

●業界をめぐる動き

- ・ハム・ソーセージ製品等の価格改定等の状況について
- ・令和3年度 初級食肉加工技術講習会の修了報告について
- ・令和3年度 JAS品質管理責任者等専門講習会開催
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #79

●ひろば

第74回 株式会社富士ハム



SPECIAL
EDITION

特 集 1

食肉需給の動向について

内容をちょっと読み



岡崎 崇 農林水産省畜産局食肉鶏卵課食肉需給班

1. 食肉需給の概要

(1) 食肉消費量の推移

我が国における1人当たりの食肉消費量は、昭和35年以降、日本人の食事内容が西洋化したことなどにより、平成10年頃まで大きく増加した。その後は、食生活の西洋化の定着、少子高齢化の進展等が相まって、おおむね横ばいで推移してきたが、近年の好景気等を背景に、焼肉や牛丼、ハンバーガー等の外食を中心に食肉全体の消費量は一層拡大しており、令和2年度には、牛肉6.5kg、豚肉12.9kg、鶏肉13.9kg

となり、合計では過去最高の33.3kgとなった。

特に豚肉は、価格が牛肉と比べて安価であることに加え、調理や加工向けの用途が豊富であることなどから、1人当たりの消費量は牛肉・鶏肉と比べて高い水準で推移してきた。平成に入る頃には、豚肉消費量の伸びは横ばいとなったものの、平成10年代には、国内外での牛海绵状脑症(BSE)の発生や、タイ・中国における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、牛肉・鶏肉からの代替需要が生じ、再び増加傾向となった。

続きを読む定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp